

わすれもの

はるか

りかしつってこわい。がいこつがうごきそうだし、じんたいもけいからはぶきみなおとがしそう。せんせいは、りかしつにわすれものをして、とりにきてはいけない、といっていた。

あるひ、ほくはりかしつにわすれものをしてしまった。わすれものをしたことをおかあさんにばれてしまったらおこられるから、ないしょでとりにいれないといけない。でも、せんせいからは、わすれものをとりにいってはいけないといわれている。

このひは、がくどうで、おかあさんのおむかえのよていだった。

おかあさんがむかえにきたので、

「トイレにいつてくるから、ちよつとまってる。」
といつて、りかしつへはしつた。

りかしつのドアはあいていた。なかにはいると、わすれてしまったハンカチがつくえのうえにおいてあった。

ハンカチをとつたら、ガチャガチャとおとがきこえてきた。うしろをむくと、ほくのすぐそばにがい

こつがたつていた。

ほくがさけぶと、がいこつがからだをおさえてきた。がいこつのでをはなそうとしたけれど、どんどんおさえつけるちからがつよくなつていつて、とうとうほくはきぜつしてしまった。

「おそくなつてごめんね。」
と、おとこのこがいつて、おかあさんといつしよにかえつていつた。

つぎのひのあさ、せんせいがりかしつのドアをあけると、きのうにはなかつたがいこつがひとつあつた。そのがいこつはてにハンカチをもつていつた。

せんせいがドアをしめようとしたときに、

「ほくはここにいろよ。わすれないで。」
というしずかなこえがきこえた。

りかしつってこわい。がいこつがうごきそうだし、じんたいもけいからはぶきみなおとがしそう。

せんせいは、りかしつにわすれものをして、とりにきてはいけない、といっていた。